

| 実践校に関する事項 | | |
|--|------------------------------|----------------|
| 学校区分 | 学校名 | 学校長名 |
| 小学校 | 和歌山市立 今福小学校 | 亀井 直規 |
| 学校所在地 | | |
| 〒 640-0044 | | |
| tel 073(424)6101 | fax 073(424)6102 | |
| 担当者名 | | 担当教科 |
| 貴志 優太 | | |
| <p>〔学校の概要〕</p> <p>児童数187名。児童数は年々減少しているが、地域内での交流が多く、学校教育に教育的な保護者や地域の方々が多い。本校は和歌山市の体育科の研究指定を受け、研究を進めている。本校では年間を通してたてわり活動を行っているので、児童館では学年を越えた関わりがある。そのため、異学年楽しく遊んだり、共に学んだりすることができている。6年生は「リーダー」として学校を率いる存在として成長し、それを次の学年が引き継ぎ、6年生を中心によりよい学校を作っていこうという雰囲気学校全体にある。</p> <p>単学級がほとんどで、大勢の人の前や慣れない場での経験が少なく、引っ込みがちな児童が多いことは課題の一つである。本校の所在地は和歌山市の中心部に位置し、校区の土地を住宅がほとんどを占めるため、自然はととも少ない。</p> | | |
| 研究実践に関する事項 | | |
| 対象者児童・生徒 | 学習支援者等（延人数） | 主な活動場所 |
| 学年 6年生 39名 | 6名 職員 3名 | 高野町中央公民館 高野山奥院 |
| 実践研究テーマ | | |
| 友だちとかかわり合い、ともに高め合う子どもたちの姿を求めて | | |
| 実践教科等名 | 単元名 | |
| 総合的な学習の時間 | 世界遺産！高野山 ～学んだことを新聞にまとめよう～ | |
| 〔キーワード〕 世界遺産学習 情報活用能力 高野山 | | |
| <p>〔単元目標〕</p> <p>世界遺産について興味を持ち、その中から課題を決め、調べ、まとめることができる。</p> <p>世界遺産について調べ、学んだことと高野山を関連付けて疑問や課題を持ち、現地学習を通して世界遺産について理解を深めることができる。</p> | | |
| <p>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</p> <p>全体 12 時間 （「 世界遺産、高野山について、調べたことをまとめよう 」 6時間 ）</p> | | |
| <p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</p> <p>・和歌山県世界遺産センター 次世代育成事業（現地学習等）</p> | | |

| 実践校に関する事項 | | | |
|---|---|--|------------------------------------|
| 〔单元指導計画概要〕 | | | |
| | 主な学習活動 | 学習への支援 | 評価方法等 |
| 1 | 1.世界遺産について知っていることを出し合おう。 | ・これまでの学習で学んだことを思い出しながら考えを出せるようにする。 | (関心・意欲・態度) (課題設定の能力) 発言・観察 |
| 2 | 2.世界遺産について知らないことや調べてみたいことを出し合おう。 | ・調べることについて、これまでの学習を思い出し、数字や歴史といった視点を提示する。 | (情報活用能力) 観察・レポート |
| 3 | 3.現地で実際に世界遺産を体感し、学ぼう。 | ・講座では自分たちが調べたことを再確認しながら聞くようにする。 | (情報活用能力) 観察・発言 |
| 4 | 4.現地で見てきたことや聞いてきたこと、もっと知りたいことをパソコンを使って新聞にまとめよう。 | ・読んでもらうクラスメートが分かりやすいように図や表、イラストや写真を用いるようにする。 | (学び方、ものの考え方) (課題設定の能力) 観察・新聞 |
| 5 | 5.自分の作った新聞を紹介しよう。 | ・分かったこと、感じたことを中心にまとめ、友だちと交流し、深められるようにする。 | (学び方、ものの考え方) ワークシート・観察 自己評価 |
| 〔单元学習の成果と課題〕 | | | |
| <p>成果 課題を個人で設定することで、人に頼ることなくそれぞれの調べたいことをまとめることができた。それを共有することで同じ時間数を全員で学習していくよりも多くの知識を得ることができた。また、その知識をもった中で高野山に対する学習に取り組むことができた。世界遺産全般についての知識、高野山についての数字や歴史を学ぶことができた。</p> <p>課題 現地学習で高野山の歴史を感じることができ、歴史の重みを肌で感じることはできていたが、世界遺産に関わる人たちの思いまで踏み込んで考えさせることができなかつた。事前学習で知識だけでなく、世界遺産を守っている人たちやそこに暮らしている人たちの思いについても考えさせるべきであった。</p> | | | |
| 〔世界遺産学習の効果〕 | | | |
| <p>世界遺産については5年生の時に社会科で学習していたこともあり、事前に世界遺産について各自疑問を持ち、調べ、それを共有することができていたので、見学当日の「世界遺産講座」は、自身の学習の振り返りも兼ねながら話を聞くことができていた。たくさんの知識を得ることもできたが、高野山を自分たちの足で歩き、目で見えて感じることはできたことが何よりの学習であった。子どもからすれば、果てしない距離を歩いて高野山に登って来ていたことに驚き、世界遺産の規模の大きさを、壮大さを感じることはできた。そしてそれが和歌山にあること、守っていかなければならないことを少しは感じていたように思う。</p> | | | |
| 〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕 | | | |
| <p>現地で学ぶことができるのはとても貴重でしたので、続けていただければと思います。現地ガイドさんのお話も高野山のことだけでなく、有名な武将の逸話までお話して下さっていたので、子どもたちも大変興味深く話を聞くことができていました。和歌山県世界遺産マスターさんの人数がもう少し多ければよかったかなと思います。</p> | | | |

様式 2

平成29年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

○今ならすぐに車で行くことができるが、昔の人は天皇のような偉い人でも歩いて高野山に向かっていてを知り、大変な思いをして高野山に向かっていてのだと思った。ガイドの方も丁寧に説明してくれてわかりやすかった。

○昔の人が高野山までの山道を歩いていたかと思うととても体力があったんだな思った。世界遺産の場所に行ったことがなかったので、高野山に来ることができてよかった。

○高野山にこんなに戦国武将のお墓があるなんて知らなかったのでびっくりした。高野山のお墓にまつわる知識が分かり、すごくおもしろかったのでまた行きたい。

○高野参詣道は歩くと20日ぐらいかかるので食料の確保が大変だと思った。

○「姿見の井戸」や「覚鑿坂」など高野山にまつわる伝説がすごくおもしろかった。坂ではこけないように歩くのが疲れた。

